

令和4年1月号 vol.196

みなみかぜ



発行 特別養護老人ホーム南風園 高山市千島町 1257 番地 2

TEL (0577) 33-3730 FAX (0577) 33-3751 <http://www.seitokukai.or.jp>

しらさぎユニット紹介

毎日の生活の中で四季を感じられるような行事や飾りつけをおこなっています。



ユニットのベランダで野菜を作ったり、ガーデニングでいろんな花を育てました。

野菜を収穫したり、育てた花でドライフラワー等も作りました。



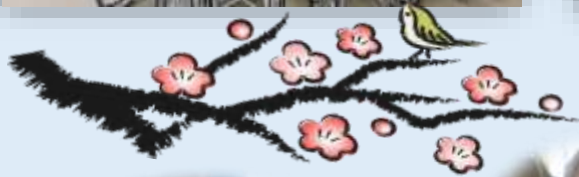
餅つき大会



例年、ご家族の方に参加していただいた家族ふれあいデーでの餅つきですが、昨年より入居者と職員での開催となりました。感染対策をし、2日間にわたりフロア別で紅白の餅をついて飛騨の正月の風物詩「花餅」を作りました。今年も立派な花餅を飾り正月を迎えることが出来、入居者様にも喜んでいただけました。



花餅作り



南風園デイサービス あったかだよ

1月号

2021. 1. 15

VOL.71

※写真撮影時のみマスク外しております。



ビンゴゲームを行い、景品のプレゼントを
させていただきました♪



翌月のカレンダー作りや
塗り絵・洗濯物たたみ・
ご利用者さん同士での編み物
教室など皆さん様々な事に
取り組んでみえます♪





餅つき大会



力強い餅つきです♪

上手い事
できたよ♡

松飾り



1

新年あけましておめでとうございます。
昨年中はご利用者様やご家族様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。
さて、高山市内でもコロナウイルス感染者が徐々に増えてきました。
継続してマスクの着用・手洗い・消毒等へのご協力をお願い致します。
より一層サービスの向上を図り、皆様安心してご利用いただけるよう、
職員一同心を込めて努めて参ります。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

テイサービスセンター南風園 職員一同





理事長年頭挨拶

社会福祉法人清徳会
理事長 向井鉄也



新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
旧年中は「清徳会」の事業運営に対しまして、ご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。
令和4年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が前年に続いて猛威をふるい、年明け直後の感染拡大の第3波の影響により、1月中旬には国の2回目となる緊急事態宣言が発令されました。延長の繰り返しにより2月末には解除されたところですが、感染力の強い変異株「デルタ株」による感染が拡大し、第4波となり、4月から6月にかけて再び緊急事態宣言が発令されました。ワクチン接種は医療従事者を始め、65歳以上の高齢者等が優先接種の対象とされ、順次開始されましたが、夏休みやお盆等による人流も相まって、全国的に爆発的な第5波の感染拡大となり、再び緊急事態宣言が発令されました。新規感染者の増加により、その期間は9月末までに至りました。秋以降、国内の感染は落ち着いたことから、経済活動を始め様々な制限が緩和されていますが、年末に新たな「オミクロン株」の市中感染が確認されており、まだまだ気を緩めることはできない状況です。

このコロナ禍の中で、施設の諸行事等を縮小、中止せざるを得ない状況ではありましたが、ご利用者の皆さんが心豊かな生活を送れるよう、また、少しでも喜んでいただけるように、職員一同知恵を出し合い、趣向を凝らした取り組みに努めたことは、新たな前進だと思います。

ご利用者の皆さんやご家族の皆様方には、面会方法をはじめ、日々の体調管理等感染防止に向けた対策にご理解ご協力いただき、改めて感謝申し上げます。コロナの終息がまだまだ見通せない状況であり、引き続き、ご不便をお掛け致しますが、ご理解の程お願い申し上げます。

コロナの話に尽きる1年ではありましたが、アスリートの活躍に沸き立った1年でもありました。新型コロナウイルスで1年延期された東京2020五輪・パラリンピックが開催され、大半の会場が無観客となりましたが、選手達の活躍は全世界の人々に大きな感動と勇気を与えてくれました。また、米大リーグでは、「二刀流」の大谷翔平選手がMVP等数多くのタイトルを手に入れました。

さて、本年は「壬寅」です。『厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージの年』だそうです。昨今の長く続くコロナ禍を乗り越える本年には希望の干支だと思います。

人口減少や急速な高齢化、地域社会の脆弱化等の社会構造が変化しており、福祉ニーズがますます複雑・多様化する、厳しい介護福祉を取り巻く環境ではありますが、清徳会は高山市における老人福祉の一翼を担う法人として、今こそ法人創設の先人たちの「志」を忘れることなく、全職員が一丸となり、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えつつ、今後も信頼と安心の事業運営に努めてまいります。

最後になりますが、本年がご利用者、ご家族、関係機関、地域の皆様、私ども社会福祉法人清徳会を支えて下さるすべての皆様にとって、幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。





新年のご挨拶

特別養護老人ホーム南風園
施設長 眞野 登志男



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、南風園事業に対してご利用者、ご家族、地域の方々、関係機関みなさまの格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍も3年目をむかえマスクの着用、手指消毒、3密の回避など感染予防対策に努めているなかでも未だ落ち着く様子もなく、今年に入っても県内における変異株市中感染者、市内での感染者も発生しており、まだまだ油断ができない状況ではありますが、やはり息苦しさをを感じる事もあります。その一方で ZOOM などを活用した外部研修や外部との会議などの環境が整い、これまでのコミュニケーション方法も変化しています。遠方から出向かなくても、研修会や会議へ効率的に参加する事が可能となり、パソコン画面を通じて顔を合わせるスタイルが当たり前になってきました。そのような中で、対面でしか感じとれない面会時の相手の表情や温もり、研修会を通しての参加者とのコミュニケーションなどの大切さも改めて感じています。

このような新型コロナウイルスに端を発した変化によって、もはやただの感染対策の域を超え、私たちがこの先、どのように生きていくかが問われているように感じます。

まず感染予防の徹底が最優先であり、南風園においても入所者及び従事者の3回目新型コロナワクチン接種も予定されておりますが、この変化を冷静に受け止め、私たちの生活がより良い方向に向かうように創意工夫をしていきたいと思えます。

さて、今年は「寅年」です。寅と聞くと一見、王者・強いなどのイメージを持ちますが、成長の象徴とも言われるようです。「寅年」は芽を出したものが成長し、これから成長する物事の「象徴が生まれる(始まる)」年とも言われており、新型コロナウイルス予防薬、治療薬などの開発により、コロナ収束につながる事を切に願うばかりです。また、労務環境においても ICT 機器や介護ロボットなども進歩しており、積極的に導入を考えていきたいと思えます。

最後になりますが、本年もご利用者やご家族の方が、安心・安全・快適に過ごせるケアを職員一丸となって目指したいと思えます。今後とも、より一層のご支援とお引立てを賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。今年も宜しく願い申し上げます。

